

学校だより

四日市市立八郷小学校発
平成24年3月19日発行

《 卒業式号 》

【卒業生による地域・社会貢献】

今年度の卒業生は、年間を通じて「地域・社会」に対する貢献活動に取り組んでくれました。この取り組みの姿勢は、中学校に進学しても心の糧となり、強く生きる力となってくれると確信しています。

卒業生の活躍を一部紹介します。

《やさとフェスタ in 伊坂ダム》～地域の行事に参画～

八郷小学校では、昨年度より「八郷地区まちづくり委員会」の全面的な支援を受け、「地域の行事に参画する子どもたち」の育成をめざしています。

これらの活動を通して、地域の方々との協働による創り上げる楽しさ、成し遂げた成就感が、「地域の一員としての自覚と活動の喜び」につながることを期待しての活動です。

担当していただく地域の方々にはたいへん負担をおかけする活動ですが、その成果は着実に子どもたちの成長となってあらわれています。「東日本大震災の支援活動」「通学路の落書き落とし」も、この活動が基盤となっていると考えています。



＜学校として「やさとフェスタ実行委員会」参加者を呼びかけ・組織し、5回の「子ども会議」、地域の方々に企画・運営説明会を開き、準備を進めました＞



＜イラストクラブの協力を得てポスターづくり、会場の下見、学校で当日必要な用品作りなど、運動会や三沓音楽会等の練習の合間をぬっての忙しい中で、準備を進めました＞



＜当日は、朝早く伊坂ダムに集合し、「子ども店長・子どもスタッフ」の腕章をいただき、「巨大すごろく」はPTA、「モトクロス」は体協の支援を受け、多くの方々に参加していただき、成功の内に終了しました。＞

東日本大震災の支援のためのベルマークの回収

《宮城県名取市立^{ゆりあげ}関上小学校への支援》

八郷小学校児童会が中心となり、大震災で被害にあった方々への支援として、ベルマークの回収による収益金で、相手側の必要な物品を購入し、寄贈する取組みを行っています。

自分たちのお小遣いを義捐金として贈るだけでなく、「自分たちの思いを届ける」方法として「自分たちが働いて得たお金を贈る」ことを児童会で考え、実践しました。

- P T Aのベルマーク回収に積極的に参加する
 - ・地域の機関、お店に回収箱を設置し、地域からも協力していただく
 - ・ベルマーク回収の作業に参加する
- 給食で飲む牛乳パックの回収、家庭からの紙パックを回収する



本校児童の中に、上記の「関上地区」に住まいする祖母がいます。昨年度の5月連休時に家族とともに訪ね、その現状を目の当たりにしました。祖母の家の被害の大きさに驚くとともに、関上地区の子どもたちが通う「関上小学校」の被害の大きさと近くの小学校に間借りしながら勉強する子どもたちについて、全校集会で発表してくれました。

児童会として、関上小学校に贈ることを決定し、関上小学校の子どもたちが必要とする品物を聞き、下記の品物とともに、自分たちのメッセージを添えて送ることにしました。今年度は、P T Aの協力をいただき、10万点を集め贈りました。

- 今年度の寄贈品は、校舎の清掃用掃除機 2台 ラグビーボール 約17個



＜全校集会を開き、支援先小学校を決定するとともに、全学級に代表委員が説明・協力依頼をする＞

＜児童会を中心に、給食で飲む牛乳パックの整理と発送、ベルマークの下処理を中心に取組みを進める＞

＜それぞれの学年がメッセージを作り、千羽鶴も作りました＞



＜^{ゆりあげ}関上小学校が希望する掃除機・ラグビーボールが届き、花の種とともに送りました＞



この取組みにおいても、PTAの進めているベルマーク収集活動と連携し、子どもたちが積極的に協力することで可能になった取組みです。今年だけの取組みで終わらず、^{ゆりあげ} 関上小学校との関係が深まればと考えています>

《通学路の落書き落としを自分たちの手で》

伊坂台から通学する2人の女の子が発案から始まった活動です。

通学路のコンクリート壁面がほこり^{ほこり}とこけで汚れ、その上に落書きが一面にかかっている。通学するたびに不愉快な思いになるということで、母親に「自分たちできれいにしたい」と相談しました。

「とてもいいことだから先生に相談してみたら」という声かけをいただきました。そして、担任に話し、学級に呼びかけました。

この通学路を利用しない子どもたちを含め、2月4日（土）、都合のつく24人が参加し汚れ落としを実施しました。

保護者が見つめる中、たわしやブラシを使ってたいへんきれいにしてくれました。



当日は寒い日でしたが、11時ごろに汚れ落とし用の水を入れたペットボトルを持って集まりました。担任が用意したプール掃除に使うデッキブラシやたわしを手に、集った子どもから落書き落としを始めました。

約20mの壁面はどんどんきれいになっていきます。子どもたちも自分たちの手できれいになっていく壁面に、掃除をする喜びを感じているようでした。このような活動ができたのも、発案した子どもの保護者の声かけ、当日の活動を見守っていただいた保護者の姿の賜物と感謝しています>

中学校に進学しても

卒業生の小学校入学のときから、コミュニティスクールとして八郷小学校が始まりました。

今年度の地域の行事に参加した子どもたちの延べ人数は、2,625人にのぼります。保護者・地域の皆様のご支援により、今の卒業生があるといっても過言ではないと思います。

中学校に進学しても、「地域・社会への貢献」しようとする気持ちを大切に成長していくことを祈念します。



＜ふれあいパスポート景品交換会＞